



問 歴史文化課

☎025-226-2584



「安政の五か国条約」と新潟開港

皆さんも
学校で安政
5(1858)年
の「日米修好通商条
約」を学んだと思いま
す。新潟はこの条約
で箱館はこだて(函館)・神奈川
(横浜)・長崎・兵庫(神
戸)とともに開港地に



安政の五か国条約の写し(新潟の記載がある。歴史博物館みなとぴあで常設展示)

選ばれました。幕府はアメリカのほか、オランダ・ロシア・イギリス・フランスとも条約を結びました(「安政の五か国条約」)。

新潟が開港地に選ばれたのは、諸外国が日本海側の開港場を要求したのに対し、幕府が直轄領である新潟を提案したからです。川港の新潟は港の深さが浅く大きな外国船が入れません。しかし幕府は他の大名領に港を開くわけにはいかないという立場を主張しました。

翌年から外国船が港の調査にやって来ました。条約では新潟が不適當ならば別の港を開くこととしていましたが、調査結果は芳しくなく、お互い相いれない幕府と諸外国との交渉は難航しました。新潟が開港できたのは、約10年後の1869年1月1日(明治元年11月19日)でした。